

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11298

文化財保護事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
中事業	文化財保護事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例		関連課	文化振興課 宮脇 進 435-1194

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か) 市内所在の文化遺産を適切に保存整備し、継承、活用を行う。		全体事業概要 文化財保護審議会を開催し、事業について指導を受ける。和歌山市指定文化財を指定する。文化財案内板の設置、文化財資料の貸出等を行い文化財の活用を図る。		
	事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
文化財保護審議会の開催、文化財パンフレットの作成、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理		文化財保護審議会の開催、文化財パンフレットの作成、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	14,032	15,021	14,454	11,798	80,065	79,545	67,357	0	67,357	0
伸び率(%)	△31.8%	△41.5%	3%	△21.5%	453.9%	574.2%	△15.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	15,142	9,424	10,431	6,131	5,973	23,194	22,573	0	22,573
	正規職員以外	761	1,911	2,618	2,124	2,703	1,446	0	0	0
	小計	15,903	11,335	13,049	8,255	8,676	24,640	22,573	0	22,573
国庫支出金	3,173	2,957	823	593	0	0	0	0	0	0
県支出金	122	114	4	3	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	5,000	0	0	0	0	0	0	0
その他	19	19	19	19	19	19	18	0	18	0
一般財源(税等)	10,718	11,931	8,608	11,183	80,046	79,526	67,339	0	67,339	0
所要人数(人)	正規職員	1.88	1.17	1.31	0.77	0.77	2.99	2.91	0.00	2.91
	正規職員以外	0.47	1.18	1.42	0.98	1.42	0.63	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	樹木等処分委託料 1,494千円 文化財保護事業委託料 65,386千円 指定文化財修理補助金 5,726千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
審議会開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指定文化財維持補修件数		件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	5		
			達成度(%)	100%	150%	40%	%	%
指定文化財件数及び登録文化財累計件数		件	目標値	254	269	277	281	285
			実績値	265	283	296		
			達成度(%)	105%	101%	105.4%	%	%
資料貸出件数		件	目標値				21	21
			実績値	15	16	21		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内各所に点在している文化財をより多くの方に知っていただき、市民の郷土に対する愛護意識の醸成を図っていただかなければならない。
見直し・改善内容	市指定文化財について、各分野の候補を文化財保護委員の指導を受け、計画的に指定していくこととした。